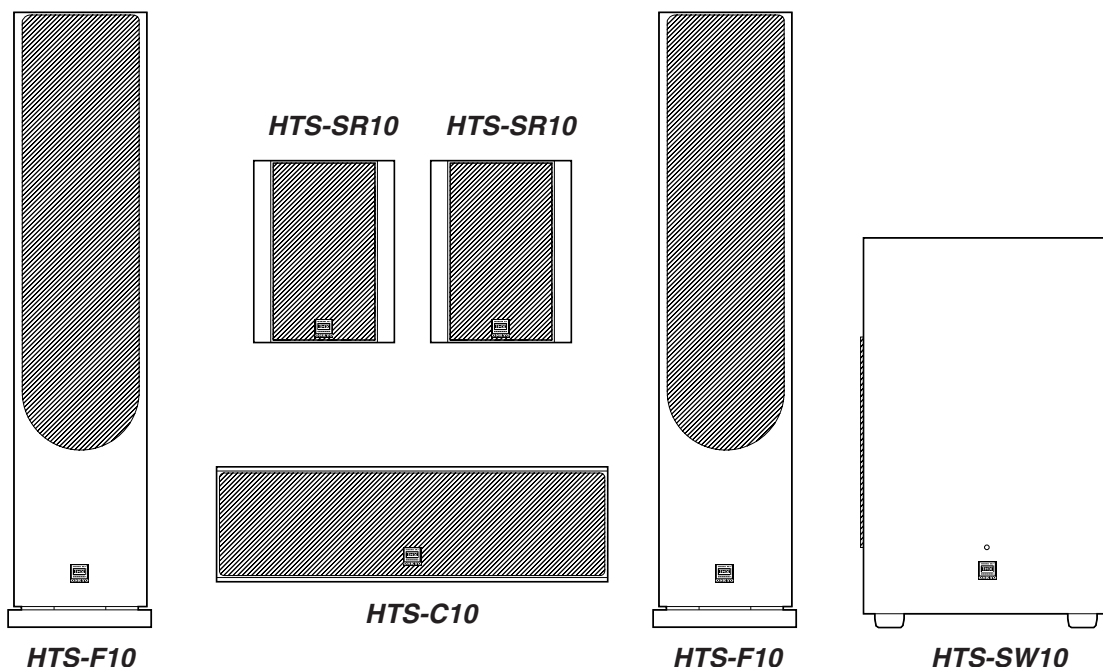
HTS System-10

ONKYO®

取扱説明書

THX-CertifiedHomeTheaterStandardSpeakerSystem
・HTS-F10 フロントスピーカーシステム　・HTS-C10 センタースピーカーシステム
・HTS-SR10 サラウンドスピーカーシステム　・HTS-SW10 サブウーファー

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られるところに保証書、オンキョーサービス網一覧表とともに大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電、アンプの故障の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源、電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を防げない

● 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。

● 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないください。

● 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 本機は屋内専用に設計されています。水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。故障や火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に水や異物が入ったら

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、直ぐにアンプの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

⚠注意

■ 設置上の注意

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 特に本機はキャビネットの背が高いため設置の際には転倒しないようにご配慮ください。市販の転倒防止チェーンをお使いいただくと地震等の際、万一の転倒を防ぐことができます。

● 本機は非常に重いので、持ち運びは必ず二人以上で行ってください。けがや腰痛の原因となることがあります。

■ 設置上の注意（つづき）

● 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、スピーカーコードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となります。

● 壁はその材質、また、桟などの位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ますので、取り付けに際しては、十分にご注意ください。（専門業者にご相談ください）

■ スピーカーコードは安全な場所へ

● スピーカーコードの配線に注意してください。
スピーカーコードを足に引っかけると転倒したり、スピーカーが倒れて危険です。特にスピーカースタンドを使用したとき、高いところに置いたとき、壁に掛けたときなど、危険です。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

■ 使用上の注意

● 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーが破損したり、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

● 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

● スピーカーの上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

● キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

● 旅行などで長時間、本機器をご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源コードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。

● 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検について

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

特長

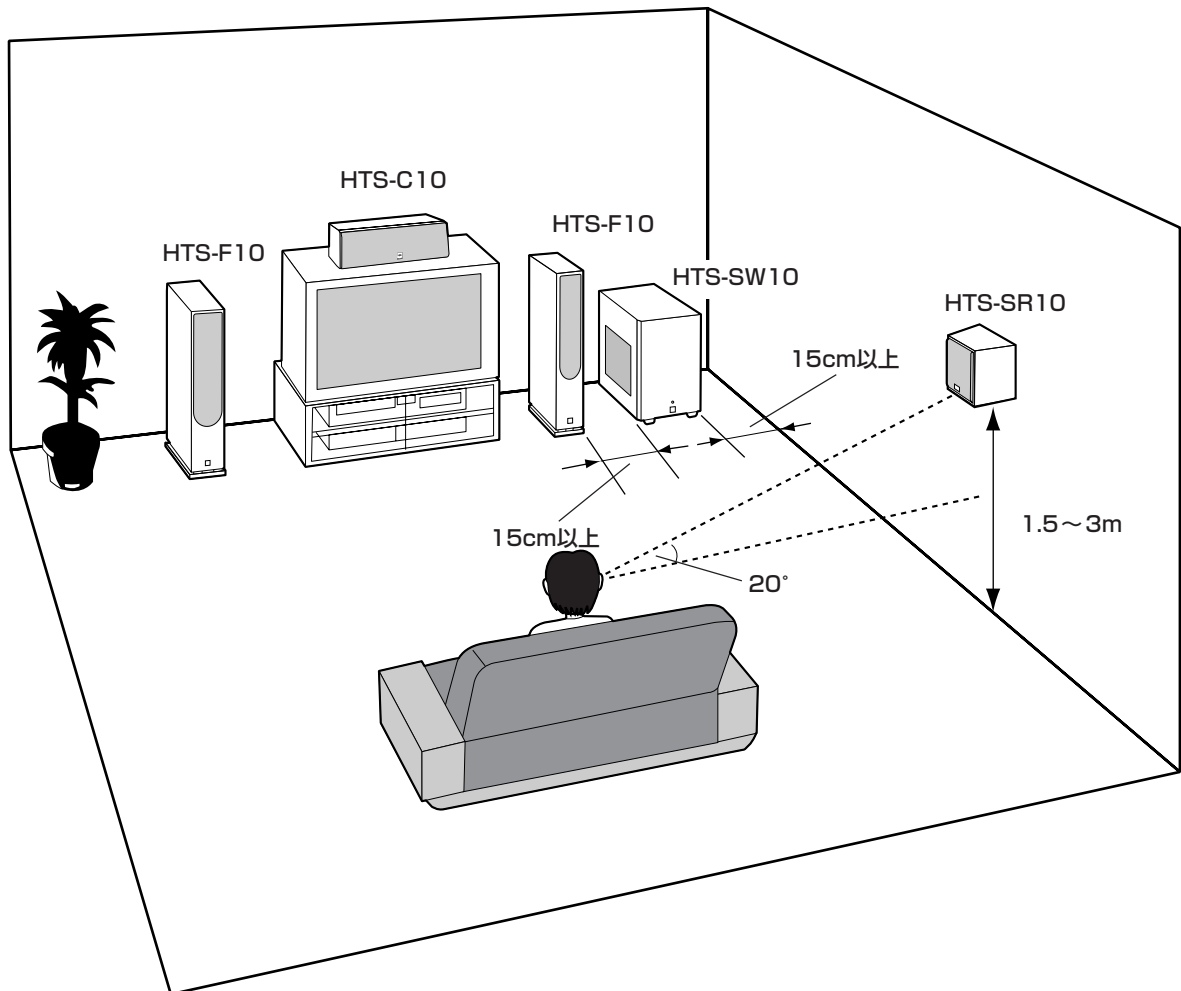
HTS System-10は世界的に有名な映画製作会社であるLucasfilm社によって確立されたTHX SELECT規格とテクノロジーにより作られたスピーカーシステム群です。このテクノロジーはディレクターがその映画を制作中意図した音を劇場でも家庭でも再現させたいというジョージ・ルーカスの個人的な願望が引き金になり育ってきたものです。HTS System-10 に含まれる全てのスピーカーシステムはいずれも一連の厳しい品質/性能試験に合格しています。このような製品にのみに付与されているTHX SELECT のロゴは、ご購入いただいた製品が長期間にわたって卓越した性能を発揮することを保障するものです。これらの製品に対する THX SELECT 規格の要求は周波数特性だけでなくパワー・ハンドリングやその他あらゆる性能的な面をカバーしています。また、家庭に持ち込んだときに十分な音場感が得られるように、全てのスピーカーシステムに対して水平及び垂直方向に対する音の広がりについても厳しい基準が設けられています。これらの結果、映画はもとより、音楽再生にもスムースな音質バランスが得られるシステムになっています。

設置について

THX セレクトの主旨に基づいた HTS System-10 に含まれるフロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、アンプ内蔵型サブウーファーはそれらを組み合わせた場合、57 立方メートル程度までの内容積を持つ部屋での映画や音楽プログラムを十分なクォリティーで再生できる能力を持っています。

注）57 立方メートル程度の内容積を持つ部屋というのは、一般的な住宅のほぼ 12 畳の部屋に相当します。

以下、12 畳程度の部屋にセッティングする場合についてそれぞれのスピーカーシステムに対する注意事項をあげます。

HTS System-10の設置例

♪音のエチケット

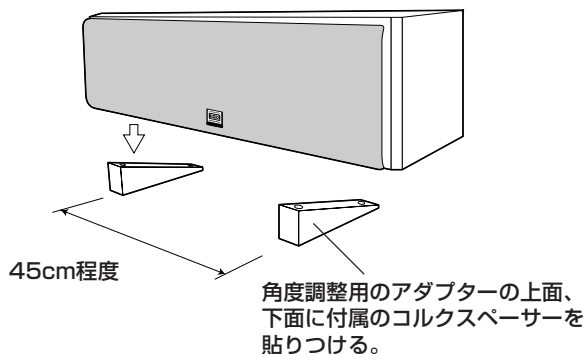
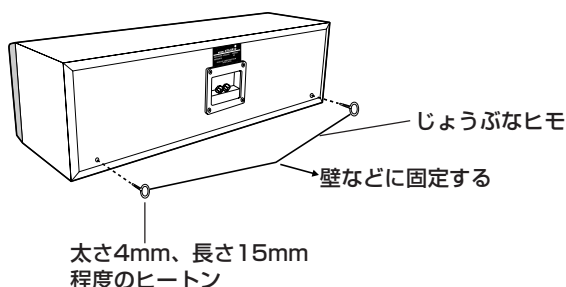
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ HTS-F10(フロントスピーカーシステム)

HTS-F10を設置するにあたっては、振動や傾斜のないしっかりとした場所を選んでください。特に毛足の長いじゅうたんの上に直接設置するのは転倒の危険もあり、音質上も好ましくありませんのでおやめください。
左右のスピーカー間の距離と音場の広がり感には大きな関係があります。また、部屋の大きさにも影響されますので、テレビまたはプロジェクター用スクリーンの大きさとのバランスを取りながら自然な広がり感が得られる位置にセッティングしてください。その際、床との間にガタツキがありますと質の良い低音が得られませんので、コインなどのスペーサーを使ってガタツキが無くなるようにしてください。一般的に床との接触は面接触より点接触の方が良い結果が得られます。板張りの床に設置する場合、付属のコルクスペーサーを底面の四隅に貼り付けて使用されることをおすすめします。

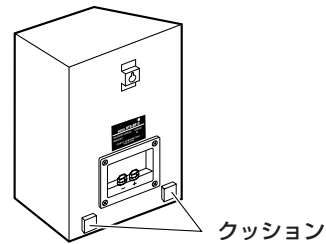
■ HTS-C10(センタースピーカーシステム)

テレビまたはプロジェクター用スクリーンになるべく近い位置、たとえばテレビの上、あるいはテレビの下やスクリーンの下に置くのが一般的です。

● 低い位置に置く場合
テレビの下やスクリーンの下に置いた場合、床と平行方向になるため、床の反射の影響が大きかったり高域の減衰が激しくなります。その場合は付属の角度調整アダプターをスピーカーシステムの下に置き上方を向くようにしてください。また、付属のコルクスペーサーを角度調整用アダプターの床側及びスピーカーシステム側に貼り付けると、傷の防止やすべり止めにもなり安定したセッティングができます。

● 高い位置に置く場合
テレビの上など高い位置に置く場合は本体又はテレビ側に付属のコルクスペーサーを貼り付け、傷の防止やすべり止めを行ってください。また、落下防止のためHTS-C10の背面に設けてある左右 2 ヶ所の穴に太さ 4mm、長さ 15mm 程度のヒートンなどを使って丈夫なひもを取り付け、壁などに固定してください。
注 1) 高い位置に置く場合は、危険ですので角度調整用アダプターは使用しないでください。
注 2) テレビの上に置く場合は、7 ページ「テレビとの組み合わせについて」もあわせてごらんください。

■ HTS-SR10(サウランドスピーカーシステム)

本機は左右の壁に取り付けたときにサラウンドスピーカーとして最適な特性が得られるように設計されています。設置場所はリスナーの真横で上方向20度付近に取り付けるのが理想的です。
注)部屋の巾が 3.6m 程度でソファーに座って聞く場合、約 1.7m の高さに取り付けることになりますが、多少異なっても問題はありません。

設置についてはスピーカーの背面についている取り付け金具を使って壁に取り付けますが、その際の注意として以下の事項をお守りください。

● 使用するネジの大きさ
頭の直径が 10mm 以下、ネジ部の直径が 4mm 以下で出来るだけ太く長いものをご使用ください。また、ネジを完全にねじ込んでしまいますと引っかけることができません。3mm 程度残してください。
● 壁の強度に十分注意してください
壁はその材質、また桟などの位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ますので、取り付けに際しては本機の質量(1 本 4.2kg)を考慮し、十分強固な場所を選んでください。(業者の方に相談していただくのが安心です)
● 下図の位置に付属のクッションを貼っていただくと安定して壁に取り付けることができます。
● スピーカーコードは壁に取り付ける前に接続してください。

■ HTS-SW10(サブウーファー)

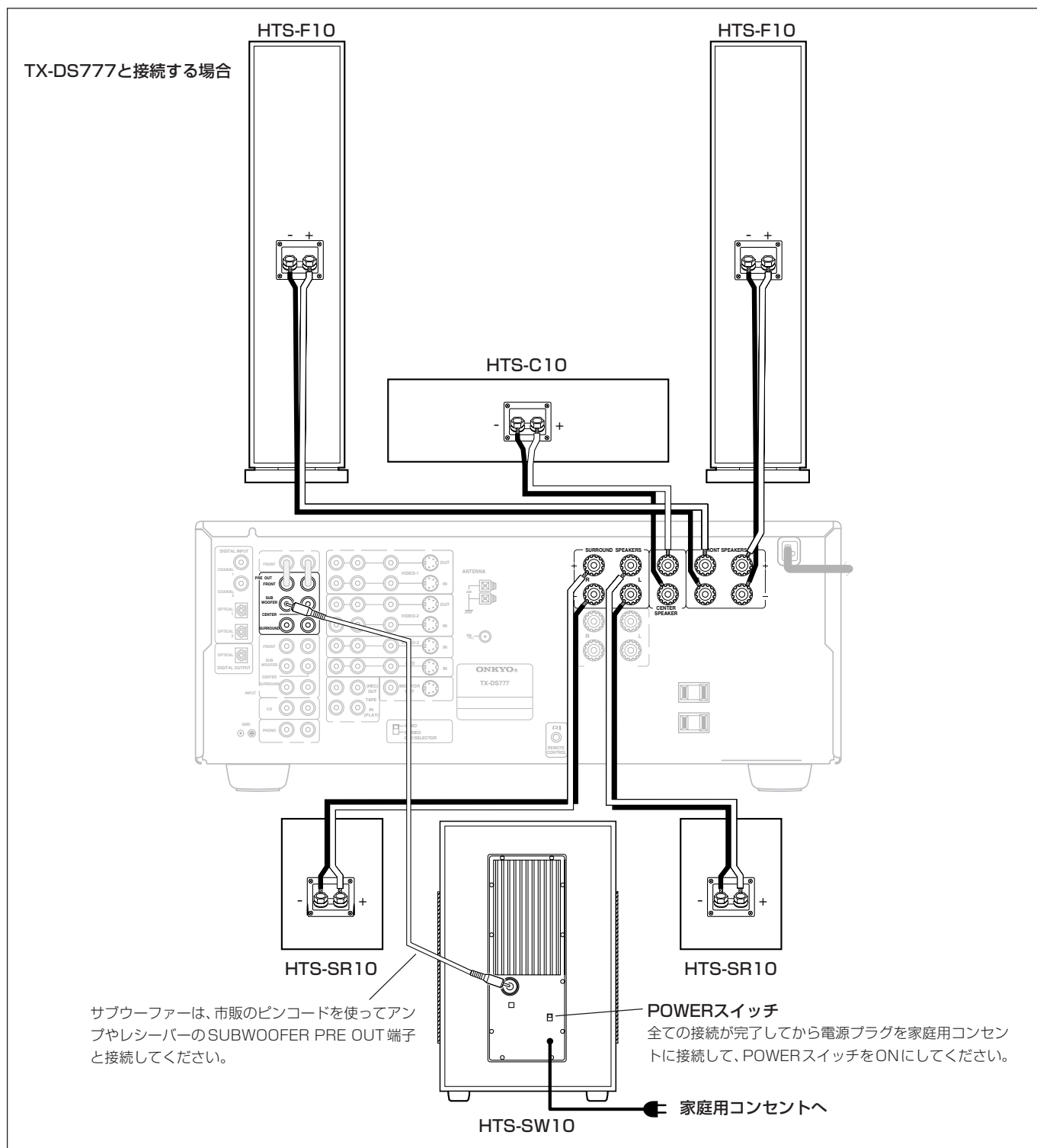
HTS-SW10 はアンプ内蔵サブウーファーで、再生される低音には指向性がありませんのでどこに設置していただいても問題はありません。しかし、再生される低音の質や量はサブウーファーの置き場所により大きく変化します。また、部屋の形状やどの位置で聞くかによっても変わります。
置き場所を決める方法として以下の方法をおすすめします。
● 質の良い低音が入った映画、又は音楽ソースを再生する。
● HTS-SW10 を部屋の色々な場所に置いてみる。
● 置き場所により様々な鳴り方をするので、いつも聞く位置で最もしっかりした低音が再生できる置き場所を選ぶ。
注)本機の足の底部にはすべり止めのためのクッションがついています。本機を移動させるときは、引きずったりせず、必ず持ち上げるようにしてください。

極性について
HTS-SW10は背面パネルにあるPHASEスイッチで極性切り替えができます。
質の良い低音が入った映画、又は音楽ソースを再生し、「NOR.(正相)」と「REV.(逆相)」を切り換えて低域の量、質を確認し優れた方の極性に固定します。
注)HTS-SW10の「PHASE」スイッチは、必ずアンプのボリュームを下げてから操作してください。

HTS-SW10 はキャビネットの両側にウーファーがついたデュアルドライブ方式です。これにより、キャビネット自体がウーファーの反作用で揺れることが無く、しっかりとした低音が再生できますが、その構造上、左右にそれぞれ 15cm 程度の空間が必要ですので設置のとき注意してください。

接続のしかたと使いかた

各スピーカーシステムの定格インピーダンスは最終ページの「主な仕様」に示すとおりです。
接続するアンプやレシーバーはそれらに適したものをご使用ください。
THX の承認を受けたアンプやレシーバー（当社製 TX-DS777、TX-DS787、TX-DS989 など）は問題なく組み合わせることができます。

- 本機とアンプやレシーバーを接続するとき､アンプやレシーバーのボリュームは出力最小に､電源スイッチ(POWER)はOFFにしたのち、スピーカーコードを接続してください。
- 各スピーカーシステム裏面の入力端子とアンプやレシーバーの出力端子を、次の図のように接続してください。接続の際はスピーカーコードの＋と－を間違えないように接続してください。
- 使用するスピーカーコードは各スピーカーシステムの性能を発揮させるために十分太いものを使用してください。
- スピーカーコードの先端はよくよじり、確実に端子に接続してください。その際、芯線がショートしていないかよく確認してください。ショートしたまま動作させるとアンプやレシーバーの故障の原因となります。
  ☆ HTS-SW10（サブウーファー）をのぞく各スピーカーは市販のバナナプラグを使用することができます。

■スピーカーコードについて

以下の表はスピーカーコードの長さにあわせた最小限のスピーカーコード規格を表示します。スピーカーコードが太くなるにつれてスピーカーコード規格(AWG)の値が小さくなります。必要なスピーカーコードの長さを計り、下記の表を参考にして線の太さを決定してください。

● フロント及びセンタースピーカーシステム

コードの長さ	AWG サイズ
7m 以下	AWG16(導線の太さが直径 1.5mm)の撚り線
11m 以下	AWG14(導線の太さが直径 1.9mm)の撚り線
17m 以下	AWG12(導線の太さが直径 2.4mm)の撚り線

● サラウンドスピーカーシステム

コードの長さ	AWG サイズ
14m 以下	AWG16(導線の太さが直径 1.5mm)の撚り線
21m 以下	AWG14(導線の太さが直径 1.9mm)の撚り線
35m 以下	AWG12(導線の太さが直径 2.4mm)の撚り線

■取り扱い上の注意

● 各スピーカーシステムは通常の映画や音楽再生には表示の許容入力に十分耐えますが、次のような特殊な信号が加えられますと、最大許容入力以下でも過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
　① ＦＭチューナーが同調していないときのノイズ
　② テープレコーダーを早送りしたときの音
　③ 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
　④ アンプが発振しているとき
　⑤ オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
　⑥ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音(抜き差し時は必ずサブウーファーのアンプや接続しているアンプの電源を切ってください)
　⑦ マイク使用時のハウリング

● サブウーファーを除く各スピーカーシステムのツィーターには強力な磁石を採用していますのでドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

● HTS-SW10サブウーファーはリアパネルに設けた主電源とは別に数分間にわたり信号が無い場合に自動的にスタンバイ(待機)状態になるオートパワー ON/OFF 回路を内蔵しています。小さい音量で再生する場合、このオートパワー ON/OFF 回路が働き、スタンバイ状態になってしまう場合があります。この場合は音量を上げてお楽しみください。

■テレビとの組み合わせについて

一般にカラーテレビ等に使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですから普通のスピーカーシステムを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機のスピーカーユニットは、(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、カラーテレビなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15 分〜 30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合はスピーカーをさらにテレビから離してください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。
とくにセンタースピーカーをテレビの上にのせた場合もっともテレビに近づいたセッティングとなりますので注意してください。
最近の大型平面テレビは、外部からの磁気的な影響を受けやすい傾向がありますのでご注意ください。

■お手入れ

キャビネットは、時々シリコンクロスまたは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものなどでふきますと傷がついたり、文字が消えたり、変色したりすることがありますから、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
サランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか、ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

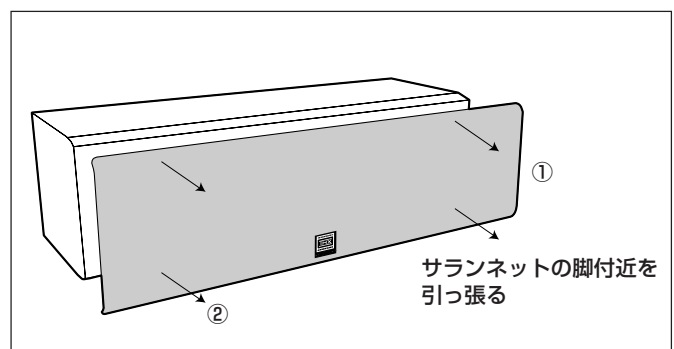
■調整のしかた

各スピーカーシステムは THX セレクト規格に準じたスピーカーシステムです。THX の承認を受けたアンプやレシーバー(当社製 TX-DS777 など)と組み合わせ、マニュアルに基づき正しくレベル調整された場合に最高の性能が発揮されます。調整のしかたについては、組み合わせる THX の承認を受けたアンプやレシーバーの取扱説明書にしたがってください。

■サランネットの着脱

サブウーファーを除く各スピーカーシステムは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

① サランネットの長手方向の片側を持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの片側をはずします。(サランネットの脚付近を引っ張るとはずしやすいです。)
② 同じようにサランネットの反対側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
③ 取り付けるときは、サランネットの四隅にある突起部を本体のサランネットキャッチャーに合わせて押し込みます。

注)サブウーファーのサランネットははずすことはできませんのでご注意願います。

修理について

■ 保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ 調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■ 保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、オンキヨーサービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは
「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(HTS-F10)、(HTS-C10)、(HTS-SR10)又は(HTS-SW10)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、またはオンキヨーサービスステーションまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

HTS-SW10 サブウーファーについて
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

ご購入された時にご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　年　　月　　日
ご購入店名　：
Tel.　　(　　)
メモ：

主な仕様

機種名	HTS-F10	HTS-C10	HTS-SR10	HTS-SW10
形式	2 ウエイ 密閉型	2 ウエイ 密閉型	2 ウエイ 密閉型	アンプ内蔵デュアルドライブ型
定格インピーダンス	6 Ω	6 Ω	8 Ω	20k Ω以上
最大入力(EIAJ)	150W(EIAJ)	150W(EIAJ)	135W(EIAJ)	
実用最大出力				125W(5 Ω・EIAJ)/ リミッター内蔵
出力音圧レベル(THX 規格) 定格感度レベル(EIAJ)	89dB/m/2.83V 86dB/W/m	89dB/m/2.83V 86dB/W/m	85dB/m/2.83V 85dB/W/m	88dB/m/100mV
再生周波数範囲(THX 規格) 定格周波数範囲(EIAJ)	65 − 20,000Hz(± 3dB) 35 − 35,000Hz	65 − 20,000Hz(± 3dB) 38 − 35,000Hz	80 − 20,000Hz(± 3dB) 50 − 35,000Hz	35 − 200Hz(＋ 1，− 3dB) 20 − 400Hz
クロスオーバー周波数	2,000Hz	2,000Hz	2,000Hz	
使用スピーカー ウーファー	13cm OMF コーン型 x 2	13cm OMF コーン型 x 2	13cm OMF コーン型 x 1	25cm コーン型 x 2
ツイーター	2.5cm ソフトドーム型 x 1	2.5cm ソフトドーム型 x 1	2.5cm ソフトドーム型 x 1	
外形寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	220 x 926 x 285mm	590 x 170 x 211mm	214 x 273 x 161mm	370 x 590 x 526mm
質量	15.5kg	8.5kg	4.2kg	29.5kg
付属品	コルクスペーサー 4 個 オンキヨーサービス網一覧表 保証書 取扱説明書(本書)	コルクスペーサー 8 個 角度調整用アダプター 2 個 オンキヨーサービス網一覧表 保証書 取扱説明書(本書)	クッション 2 個 オンキヨーサービス網一覧表 保証書 取扱説明書(本書)	オンキヨーサービス網一覧表 保証書 取扱説明書(本書)
備考	防磁設計(EIAJ)	防磁設計(EIAJ)	防磁設計(EIAJ)	防磁設計(EIAJ)

※ 本機の定格および外観は性能改善のため予告なく変更することがあります。

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

お客様相談窓口：☎ 072(831)8111

http://www.onkyo.co.jp/

SN 29342824A
Printed in Japan D0010-1